



平成28年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成28年2月5日 東

上場会社名 株式会社大阪ソーダ 上場取引所
 コード番号 4046 URL <http://www.osaka-soda.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 (氏名) 佐藤 存
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員管理本部長 (氏名) 川端 一弥 (TEL) 06-6110-1560
 四半期報告書提出予定日 平成28年2月8日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成28年3月期第3四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第3四半期	75,505	1.8	5,194	30.9	5,424	17.6	3,299	18.8
27年3月期第3四半期	74,153	7.8	3,968	12.8	4,613	14.2	2,777	21.9

(注) 包括利益 28年3月期第3四半期 3,372百万円(△29.4%) 27年3月期第3四半期 4,777百万円(26.3%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第3四半期	31.31	26.01
27年3月期第3四半期	26.36	23.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
28年3月期第3四半期	100,517	50,157	49.9
27年3月期	100,893	47,704	47.3

(参考) 自己資本 28年3月期第3四半期 50,157百万円 27年3月期 47,704百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	4.00	—	4.00	8.00
28年3月期	—	5.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

28年3月期第2四半期末配当金の内訳 普通配当 4円00銭 記念配当 1円00銭

3. 平成28年3月期の連結業績予想(平成27年4月1日～平成28年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	105,000	3.6	6,000	16.0	6,300	9.6	3,800	10.1	36.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
 (連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
 新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期3Q	111,771,671株	27年3月期	111,771,671株
28年3月期3Q	6,416,785株	27年3月期	6,411,660株
28年3月期3Q	105,357,329株	27年3月期3Q	105,350,991株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件および業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、堅調な企業収益や雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな景気回復基調が続いているものの、米国の利上げが実施され、中国をはじめとする新興国等の景気減速への警戒感も高まってきており、先行き不透明な状況で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは、5カ年の中期経営計画『NEXT FRONTIER-100』の2年目にあたり、「新製品・新規事業の創出」、「海外事業の拡大」および「既存事業の再構築・再強化」を3つの方針として、事業の拡大・強化ならびにコスト削減に取り組んでまいりました。

基礎化学品では、クロール・アルカリは、市況軟化の影響により売上高が減少しましたが、エピクロロヒドリンは、国内および海外ともに需要が堅調に推移しましたので、売上高は322億4千1百万円と前年同期比0.2%の増加となりました。

機能化学品では、エピクロロヒドリンゴム関連は、中国の経済成長鈍化の影響で中国向け輸出が減少しましたが、その他のアジア地域向け輸出が堅調に推移したことにより、売上高が増加しました。ダップ樹脂は、UVインキ用途を中心に国内販売が堅調に推移し、海外についてもアジア地域で輸出が増加したため、売上高が増加しました。医薬品精製材料は、中国市場向けが大幅に増加したことに加え、糖尿病治療薬用途向けも欧米を中心に好調に推移し、売上高が増加しました。医薬品原薬・中間体は、抗潰瘍薬および抗インフルエンザ薬の中間体等が堅調に推移し、売上高が増加しました。アリルエーテル類は、中国経済減速にともない販売量が減少したため、売上高が減少しました。以上の結果、機能化学品の売上高は277億3千4百万円と前年同期比8.1%の増加となりました。

住宅設備ほかでは、生活関連商品は、季節商品が低調に推移し、エンジニアリング事業においても大型工事案件が減少したため、売上高は155億2千9百万円と前年同期比4.9%の減少となりました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の連結売上高は755億5百万円と前年同期比1.8%の増加となりました。利益面においては、機能化学品事業の伸長により、営業利益は51億9千4百万円と前年同期比30.9%の増加、経常利益も54億2千4百万円と前年同期比17.6%の増加、親会社株主に帰属する四半期純利益も32億9千9百万円と前年同期比18.8%の増加となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

流動資産は、前連結会計年度末に比べて、1.1%増加し590億7千6百万円となりました。これは、主として受取手形及び売掛金が27億5千8百万円増加、現金及び預金が23億3千7百万円増加、商品及び製品が11億7千3百万円増加、有価証券が59億9千9百万円減少したことによります。

固定資産は、前連結会計年度末に比べて、2.4%減少し414億4千1百万円となりました。これは、主として有形固定資産が8億1千5百万円減少したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べて、0.4%減少し1,005億1千7百万円となりました。

(負債)

流動負債は、前連結会計年度末に比べて、3.1%減少し312億5千2百万円となりました。これは、主として支払手形及び買掛金が6億4千2百万円減少したことによります。

固定負債は、前連結会計年度末に比べて、8.7%減少し191億7百万円となりました。これは、主として長期借入金金が18億1千万円減少したことによります。

この結果、当第3四半期連結会計期間末における負債合計は、前連結会計年度末に比べて、5.3%減少し503億5千9百万円となりました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、前連結会計年度末に比べて、5.1%増加し501億5千7百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の業績予想につきましては、平成27年5月8日発表の業績予想に変更はありません。今後、何らかの変化がある場合には適切に開示してまいります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)
および「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第3四半期連結累計期間については、四半期連結財務諸表の組替えを行っております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)および事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第3四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額ははありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	7,596	9,934
受取手形及び売掛金	28,172	30,931
有価証券	12,499	6,499
商品及び製品	5,669	6,843
仕掛品	1,127	1,662
原材料及び貯蔵品	2,186	2,076
その他	1,203	1,135
貸倒引当金	△5	△6
流動資産合計	58,450	59,076
固定資産		
有形固定資産		
機械装置及び運搬具(純額)	11,581	11,444
その他(純額)	9,005	8,326
有形固定資産合計	20,586	19,771
無形固定資産		
のれん	902	804
その他	257	274
無形固定資産合計	1,159	1,079
投資その他の資産		
投資有価証券	19,452	19,487
その他	1,251	1,111
貸倒引当金	△6	△8
投資その他の資産合計	20,697	20,590
固定資産合計	42,443	41,441
資産合計	100,893	100,517

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成27年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	15,764	15,122
短期借入金	8,880	8,880
1年内返済予定の長期借入金	2,480	2,430
未払法人税等	915	675
賞与引当金	720	355
その他	3,497	3,790
流動負債合計	32,258	31,252
固定負債		
新株予約権付社債	10,000	10,000
長期借入金	5,400	3,590
役員退職慰労引当金	615	534
退職給付に係る負債	2,447	2,428
その他	2,467	2,553
固定負債合計	20,930	19,107
負債合計	53,189	50,359
純資産の部		
株主資本		
資本金	10,882	10,882
資本剰余金	9,399	9,399
利益剰余金	22,038	24,390
自己株式	△1,663	△1,665
株主資本合計	40,657	43,006
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,900	6,985
繰延ヘッジ損益	7	△18
為替換算調整勘定	22	49
退職給付に係る調整累計額	118	134
その他の包括利益累計額合計	7,047	7,151
純資産合計	47,704	50,157
負債純資産合計	100,893	100,517

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
売上高	74,153	75,505
売上原価	62,485	62,041
売上総利益	11,668	13,463
販売費及び一般管理費	7,699	8,269
営業利益	3,968	5,194
営業外収益		
受取利息	12	20
受取配当金	260	300
為替差益	497	—
その他	48	36
営業外収益合計	819	357
営業外費用		
支払利息	93	71
社債発行費	36	—
為替差損	—	42
その他	45	12
営業外費用合計	174	126
経常利益	4,613	5,424
特別利益		
固定資産売却益	30	—
投資有価証券売却益	6	18
新株予約権戻入益	11	—
特別利益合計	48	18
特別損失		
固定資産除却損	253	266
創立100周年記念費用	—	216
特別損失合計	253	483
税金等調整前四半期純利益	4,408	4,960
法人税、住民税及び事業税	1,300	1,392
法人税等調整額	330	268
法人税等合計	1,631	1,661
四半期純利益	2,777	3,299
非支配株主に帰属する四半期純利益	—	—
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,777	3,299

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)
四半期純利益	2,777	3,299
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	1,918	85
繰延ヘッジ損益	50	△25
為替換算調整勘定	3	△3
退職給付に係る調整額	27	16
その他の包括利益合計	2,000	73
四半期包括利益	4,777	3,372
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	4,777	3,372
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	32,171	25,648	16,334	74,153	—	74,153
セグメント間の内部 売上高又は振替高	12	1	860	873	△873	—
計	32,183	25,649	17,194	75,027	△873	74,153
セグメント利益	1,154	3,304	277	4,735	△767	3,968

(注) 1 セグメント利益の調整額△767百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第3四半期連結累計期間(自平成27年4月1日至平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	基礎化学品	機能化学品	住宅設備ほか	合計	調整額 (注1)	四半期連結損益 計算書計上額 (注2)
売上高						
外部顧客への売上高	32,241	27,734	15,529	75,505	—	75,505
セグメント間の内部 売上高又は振替高	17	2	340	360	△360	—
計	32,259	27,736	15,869	75,865	△360	75,505
セグメント利益	1,417	4,380	153	5,950	△756	5,194

(注) 1 セグメント利益の調整額△756百万円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない基礎研究開発等および管理部門の一部に係る費用であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。